



Title	Clinical profile of primary biliary cirrhosis with features of autoimmune hepatitis: Importance of corticosteroid therapy.
Author(s)	吉岡, 容子
Journal	2014
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10470/30814">http://hdl.handle.net/10470/30814</a>

様式 (6)

## 学 位 審 査

学 位 番 号	乙 第 2838 号	氏 名	吉岡 容子
審 査 委 員 会	主 査 教 授	立元 敬子	
<p>論文審査の要旨 (400 字以内)</p> <p>原発性胆汁性肝硬変(PBC)に自己免疫性肝炎(AIH)症候が併存する疾患群 (併存群) が知られるが、診断基準や臨床的特徴は不明である。</p> <p>1999 年～2011 年に当科で診断された PBC280 例中、利胆薬無効、自己抗体陽性、肝組織炎症像のすべてが認められる 28 例を併存群とし、臨床像やステロイド治療の奏功性を検討した。併存群は女性が 93%、年齢中央値は 55 歳、観察期間中央値は 7.8 年であった。ステロイド治療は 20 例に行われ無効 5 例で、治療無効の危険因子は ALP 高値、抗平滑筋抗体陰性、gp210 抗体陽性であった (多変量解析)。10 年生存率はステロイド治療有効例で 100%だが、ステロイド非投与例と無効例では 54%と予後不良であった。</p> <p>併存群は PBC の 10%を占め、ステロイド奏功性の予測因子が明らかとなり、予後がステロイド治療の反応性に依存することが示され、臨床的かつ学術的に価値ある論文である。</p> <p>本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に学務部医学部大学院課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]</p>			